

Clover クローバーリーftimeス

発行：千葉県千葉市クローバーリーftimeスクエアーズ

Leaf TIMES

第50号
2022年7月13日

会 長 挨拶

初めに、クローバーリーftimeスが第50号を迎えるにあたり1993年からの歴代の編集委員に感謝申し上げます。

1号からの記事については、ホームページにすべて掲載されていますので、是非とも一読願います。30年近くのクローバーリーftimeの歴史が伺えると思います。

コロナも3年目に入り、感染状況が少しずつ減少してきて、規制も緩和傾向になりつつあります。

スクエアダンス界も徐々に元の活気を取り戻すように、県内数か所でビギナー講習会が開催されているようで、クローバーリーftimeも6月から3年振りにビギナー講習会が始まりました。嬉しいことに7名の方が体験をし、うち4名の方が講習会に参加。フレッシュな方が加わり、久しぶりに新鮮な気分で踊れ、皆さん楽しんでみているみたいです。



今回の講師の渡部さん
もしばらく仕事で来られなかったのですが、すぐに以前のペースを取り戻して、ダジレを踏まえた明るい指導をして講習会の雰囲気盛り上げています。

5月には、プラス初心者講習会も始まり、同じくスクエアミックス主催のアドバンスも初心者講習会が始まりました。

会員の数（S協登録）が、3年前の2019年98名だったのが、今年度（2022年）はなんと55名に、43名減少しています。2020年にクローバーリーftimeから独立した「ポラリス」に20名移籍したのが、大きな要因ですが、その他、昼間のサークルに移籍した方が9名、退会が14名でした。

98名のうち84名の方がスクエアダンスを引続き踊っていることがわかっただけでも少しほっとしています。

今は、とにかく今年のビギナー生を育て、来年以降徐々に増やしていくよう考えています。

元通りになるのが、もう少し時間がかかると思いますが、アフターコロナを見据えながら、スクエアダンスを楽しんでください。

令和4年7月 会長【窪園弘治】

クローバーリーftime第50号発行

クローバーリーftimeスクエアーズの会報は1993年8月に創刊され、ついに第50号の発行を迎えました。第30号からの10年を振り返ってみました。なお50周年記念誌及び2017年8月号に第40号発行記念記事を掲載しておりますので、ご参照ください。

会報50号発行を迎えて

“祝”クローバーリーフタイムス50号”

第50号発刊と編集責任者及び携わった皆様に敬意を表すとともに、ご苦勞様、ありがとうございました。毎回楽しく興味を持って拝読させてもらっています。

今回の記事を作成するにあたり、コロナ禍の中窪園会長がホームページにアップした1号からの会報を改めてスマホで開いて見てみました。



40号で今までの編集責任者(4名)の座談会の記事が目にとまりました。編集での企画、記事が思うように集まらない等苦勞話がありました。私自身も原稿のキャンセルをしたり、提出遅れで(毎回ですが)皆様にご迷惑をかけた事を反省しています。

28号はクローバー45周年特集号。アニバーサリー1ヵ月前に東日本大震災が起こり、開催が危ぶまれましたが、会長を中心に会員、ゲストまた各クラブからも開催の支持の声があり、東日本大震災復興支援パーティーとして、JFE千葉体育館の協力もあり開催された記事が目にとまりました。

チャリティーとして参加費から160,000円、会場の募金箱から144,917円合計304,917円をS協等を通じて寄付できたことを会報で読み直し、SD愛好者の熱い気持ちに今でも感動します。

当日の参加者は805名でした。(県外61団体、県内46団体)

このほか各号で苦勞しての企画、身近なクラブの話題、パーティー、旅行の参加感想、苦勞話、趣味等楽しく拝読させていただいております。

さらにコロナ禍でも発刊して頂き、例会に参加できない会員の皆様よりも元気が出たとの話を聞きました。

最後になりますが、これまで編集に携わってきた皆様のご苦勞に感謝するとともに、会

員の皆様にも積極的に記事の提供、締め切りを守ることを私自身の反省を込めてよろしくお祈りします。

“皆様、もう一度ホームページから会報をクリックしてみたら。” 【川崎秀夫】

“第50号発行おめでとうございます”

約30年間大勢の方々に引き継がれとても嬉しく感謝申し上げます。平成5年、何気ない会話の中で会報誌の希望があり、専門的な事は何もわからず手探り状態でしたが、会員の皆様のご協力を得て何とか第一号を発行しました。

年間の発行も不定期で、慣れないワープロを打ち、新聞等のカットをコピーや手書きして大変でした。今思えばなんとも恥ずかしい会報誌だったと思うばかりです。



の後は多くの皆様の協力でA5版からA4版へ、白黒からカラーへと定期的な素晴らしい会報になりました。

振り返ってみますとクローバーリーフの歩みがよくわかり、感慨深い貴重なものだと思います。

これからも引き続き発行していただけますようお願いしております。 【岡本允子】

“クローバーリーフタイムスとの出会い”

クローバーリーフとの出会いは1998年(第45回)SD初心者講習会でした。プログラムはかなり進んでいるようでしたが、そのまま講習の受講を許され修了することができ、無事クローバーの会員になることができました。

クローバーリーフタイムスはその頃既に発行されており、新人の私にも1999年4月発行第11号のクローバーリーフタイムスに県SD講習会感想文の寄稿依頼を受けました。

記念誌40周年誌、50周年誌によると、クローバーリーフタイムス創刊号(会報名おしゃ

べりタイムス) が 1983 年 9 月 28 日発行されたようです。

1993 年 8 月 18 日に第 1 号会報 Clover LeafTimes として復刊し、その後年 1~2 回発行されてきたようです。私も編集委員として何号か参加させていただきました。



思い出すのは、気が弱い私は寄稿依頼をお願いするのが苦痛でした。その頃紙面は白黒で、編集も前からのを参考にして作成したように記憶しています。

現在はカラー化され、紙面内容も充実して誠に華やかで素晴らしい会報が発行され感無量です。

クローバーリーフタイムスがこれからも継続されんことを。50号発行、会員、編集委員の皆さんおめでとうございます。更なる楽しい紙面へ！！

【池田二三男】

“長い歴史を紡いで”

クローバーリーフタイムス第50号おめでとうございます。

1993年の第1号発行から会報担当の先輩の方々のご苦労がつながって、今に至っているものと察します。

年々話題に事欠かなかった当たり前の状態が、3年前の新型コロナの流行により何もかも行事が中止となって、記事を載せるために大変な苦労があったことだろうと思うと頭が下がります。

そして又クラブ会員の協力があってこそ成り立つものと思うと会報に限らず全てにおいて会員の結束力の大切さを改めて感じます。

これから先も絶やすことなく皆でつないでいかれますよう(楽しみに)願っています。

【坂本れい子】

“会報の楽しみ”

クローバーに再入会して19年目になりました。その間会報の発行が楽しみでした。

会報が発行されると一気に隅々まで読んでしまいます。その時々催しの様子がわかる

ような感想が楽しく、ひとつひとつに感動してきました。

ただ今回改めて感想をと言われ慌てました。楽しみにしていたとは言え、今まで何も考えずに読んでいたんだなあ、反省です。

考えてみれば編集に携わる方々のご苦労、投稿される方のご苦心などに思いを巡らす事はなかったように思います。ごめんなさい。

この原稿依頼はそのための“バツ”かなあ？と感じています。

で、中身は無いけれど、一応責任を果たすべく、拙い一文を提出いたします。お笑ください。

これからも明るく、読み応えのある会報を楽しみにしています。

よろしくお願ひします。 【小柳千賀子】



“会報委員の活動”

編集委員の活動と言いましても未だ浅く、原稿チェック程度で高木さんや会長が全て担ってくださっていますので、委員と言いだいので心苦しいです。

ましてコロナ禍で、イベント中止やいろいろな制約がありながらの例会でしたので、これから休会している会員の方々が復帰してくださり、コロナ前のクローバーリーフに戻り、楽しい行事を再開し笑顔あふれる皆様をカメラに収め、お届けしていきたいと思ひます。

【高原セツ子】

“会報委員に感謝”

クローバーリーフタイムス第50号発行、本当におめでとうござひます。

この10年の歩みを拝見いたしまして高木さん達の様々な取り組みに感謝します。

ちょうど私が入会の時期と重なり懐かしく思ひます。年に2回の発行、ご苦労も多いと思ひますが、今後も楽しみにしています。

素晴らしいクローバーリーフの歴史ですね。



【梶秀子】

会報作成日誌

約10年間会報の作成を担当し、記事も集まらず思うような紙面が出来なくて、何度か自信を無くしたこともありましたが、何とか50号まで発行することが出来ました。でも仕上がった印刷物を受け取って、会員に配れた時の満足感は格別でした。各号でのトピックスを綴ってみました。

第30号 (2012. 8. 30)

飯塚さんからいきなり会報のファイルとメモリーカードを渡されて「Word使えるんだろ、やってよ」と言われ、入会まだ3年目で何も分からないまま押し付けられてしまいました。

(これからが苦難の道の始まりでした。)

やったことのない段切り、段組、写真イラスト挿入、枠入れ等、Wordのマニュアルを必死で読んで、何とか6ページを埋めました。



(第46回アニバーサリー)

第31号 (2013. 1. 23)

前号の経験からとにかく記事ネタを集めるのが最重要と分かり、クラブの行事にはカメラを抱えて出来る限り参加しました。

この号は西山さんの還暦パーティーがあったので頁を稼げて8頁に出来ました。



第32号 (2013. 7. 17)

会報の印刷をネット発注すると安くできることが分かったが、4頁単位にしなげなければならない、8頁を埋めるのに大苦勞。

クラブ行事記事だけでは埋まらず、「創生期の頃」、「SD 川柳」、「お役立ち情報コーナー」を設けました。

創成期の頃

「巡視艦こじま」
での夜通しダンス



第33号 (2014. 1. 29)

会員から「SD 川柳」を募集し、楽しい句が沢山集まるようになりました。

*****SD川柳*****

またビジターさんに「外から見たクローバーリーフ」を投稿していただき記事を増やしました。

第34号 (2014. 7. 16)

毎回夏号はアニバーサリーの記事で埋めていましたが、それでも足りず外のパーティーの参加記事もお願いして、8頁確保に努力しました。 **お神酒パーティーに参加して(浜松)**

第35号 (2015. 1. 7)

冬号は親睦旅行、全日本コンベンションの大きな行事記事が入りますが、クラブ外の行事紹介も入れました。

あるクラブのコスチュームファッションショーが面白かったので載せたら、クローバーの記事じゃないよねとコメント貰ってしまいました。

そのクラブから20



部分けてほしいと頼まれましたが、余部が無い為お断りしました。

第36号 (2015. 7. 1)

「私のチャレンジ・趣味・特技」とクラブ員の日頃思っていることを気楽に話してもらおうと「四葉のツイッター」コーナーを追加しました。 ***私のチャレンジ・趣味・特技***

*****四葉のツイッター*****

川柳の応募を増やすため優秀賞を紹介することとしました。

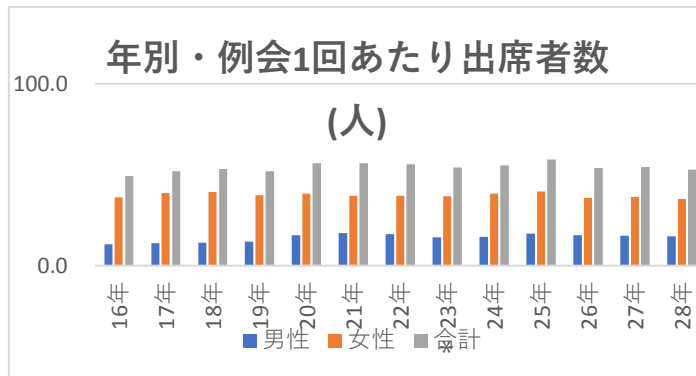
第37号 (2016. 1. 6)

ある会員から「写真が多いのはいいよね」と言われ、文字よりも写真、イラストを増やす努力をしました。



(親睦旅行)

「百聞は一見に如かず」か!



「SD川柳」等連載コーナーがネタ切れで中止となり、さみしくなりました。

第38号 (2016. 7. 6)

今年は第50回のアニバーサリーとなり、記念の記事を増やしました。



第42号 (2018. 7. 25)

作草部クラスの記事が載るようになりました。



作草部クラス修了式

39号 (2017. 1. 11)

昨年は50周年記念誌作成でへとへとになり、休刊にしようかと思いましたが、何とか続けようと頑張りました。

「50周年記念誌作成裏話・ドジ話」を書いて憂さ晴らしをしました。



第43号 (2019. 1. 30)

入野尚子さんの訪米道中記を号外で添付しました。



第40号 (2017. 8. 2)

創刊40号記念で歴代編集責任者の座談会を開催しました。



(第1号タイトル)

第44号 (2019. 7. 3)

念願の会報のタイトルが西村さんのデザインにより更新されました。会報がとてもスマートに見えるようになりました。



第41号 (2018. 1. 24)

小野さんに例会出席データを整理して頂きました。平成の頃は例会の出席者数が50人を超えていて、賑やかだったことが思い出されます。

第45号 (2020. 1. 22)

記事が集まらず悩みましたが、新人さんの「3年目の私」特集を組んで何とか8頁を確保しました。この頃は新人さんも多くて活気がありましたね。



第46号 (2020. 8. 19)

初めて4頁版となってしまいました。
この号の編集後記です。

私事ですが、2月半ば滑って転んで大腿骨複雑骨折してしまい、3カ月間入院生活を送り、外界と遮断されてしまいました。また新型コロナでクラブの活動が停止していたことから、一時今号は休刊と考えました。

しかしこのような時こそクラブ員を繋ぐものが必須ではないかと、減頁・配布遅れにはなりましたが発行することといたしました。

ご協力頂いた方々ありがとうございました。

第47号 (2021. 1. 27)

新型コロナの影響で会場が使えないことも多くあり、出来てもマスク着装・バトン使用の制限があつて、例会も低調となりました。

前号から今までの半分の4頁となってしまいました。発行を続けることがクラブの維持の力になるのではないかと意地で頑張りました。

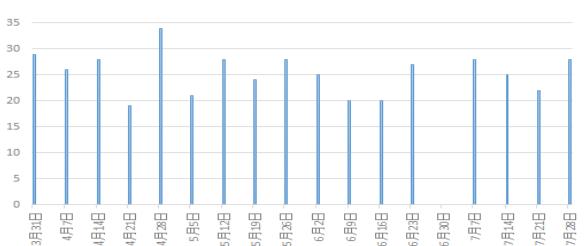


==== 例会再開の感想 ====

コロナ禍でのダンスの感想を寄せてもらいました。

第48号 (2021. 8. 18)

なかなかコロナが収まらない中、「コロナ禍におけるコーラー・キューアさんの奮闘」を特集しました。



例会参加者も少なくなっていました。

私のマンションのリフォームで5月～8月まで六本木で仮住まいとなり、発行は遅れましたが、リモートワークで乗り切りました。

第49号 (2022. 1. 26)

クラブ創立55周年として12ページもの記念号としました。

コロナ禍をはさんで50周年以降の5年間のクラブ活動を振り返ってまとめました。

いつもの3倍の300部も印刷して外部にも広く配布したら、大きな反響が帰ってきました。



第50号 (2022. 7. 13)

第30号から、幾度となくアイデア切れ、熱意切れで会報が面白くなり、会員に申し訳なく、編集委員を辞めさせてもらおうと思いましたが、後継者を育ててからと受け入れられず今日まで来てしまいました。

それでも発刊が遅れたことはありましたが、10年間途切れずに続けられたのは、記事をお寄せいただいた会員のおかげと思っています。頁が埋まらない時、記事を持ってきてくれた方は神様に見えました。

ただもっと多くの会員からの反応、コメントが欲しかったと思います。

大変でしたが、ギリギリの期限で原稿データをネットで入稿し、印刷物が出来上がって会員に配るときはいつも感激でした。貴重な仕事をさせて頂いたと感謝しています。

【編集委員 高木】

/// ミニアニバーサリー ///



主なクラブ行事

例会再開

まん延防止等重点措置が3月21日で解除になり、23日2ヶ月ぶりに例会を再開…

お待たせしました。

少しだけ明るい光が差し込んだような気がします。



6月11日からは手袋も解除となり、手の消毒だけで踊れるようになりました。

総会・ミニアニバーサリー

4月10日（日）に午後から千葉市中央コミュニティセンターで開催されました。

総会は、まん延防止等重点措置で、例年の3月がこの日に延期されました。

出席者は37名（男11女26）で、すべての議案が承認されました。

総会終了後、アニバー&渡部氏還暦パーティーが、会員限定40名（プラス会員含め）の参加で小規模に開催されました。

渡部さんが、コロナ対応の仕事でしばらく（2年数か月）ブランクが続き、この日が復帰日となりました。また還暦で、ダブルのお祝いになりました。



久しぶりのパーティーに皆さん笑顔で盛り上がりも上々。また主演の渡部さんも長い休みを全く感じさせないほどの（ダジャレも出て）コールで盛り上がりました。

セレモニーでは、花束や記念品をもらって感激していました。

まだ、コロナ禍のため2次会はできませんでしたが楽しい午後でした。

プラス講習会開始

5月には、プラス初心者講習会も始まり、3名と外部サークル1名の4名、他に復帰組の方が参加され、3セットで講習を進めているところです。

同じく、スクエアミックス主催のアドバンスも初心者講習会が始まり、新人は1名ですが、こちらにも復帰組が参加して、勘を取り戻すのに必死に踊って？いるみたいです。



《プラスに進級して》

BS、MSを終了し、5月からプラス講習に参加させていただいております。

今まで苦戦しているので良いイメージがなく、これから先暗いトンネルが待っているとしか思っておりませんでした。

しかしそのイメージが払拭されました。

それはクローバーリーフの先輩方々が隣にいてくださり、言葉であったり、手のリードであったり、コーラーさんの優しい指導であったり、本当にありがたいと思いました。

今までここまでこられたのも先輩の方々の存在であり、お陰様と言う思いをこんなに強く感じた事はありませんでした。

まだ始まったばかりですが終了するまで、いえこれからもずっとよろしく願いいたします。
【高原セツ子】

コロナ禍、ダンスの楽しさ、軽やかさとは程遠い、マスクをつけて手袋をはめ、又はバトンを使ってという状態が長く続きましたがやっとプラスの講習を受けられるようになりました。

三十近い項目に驚かされましたが、SDやMSで耳にした言葉を頼りに一歩ずつ進んでいきたいと思っています。よろしく願いします。
【村上慶子】

無料体験会

6月1日（水）無料SD体験会が3年振りに開催されました。

今回は新聞等の掲載も間に合わず、ロコミオンリー。

何と5名の参加者（2回目2人）で、それも見た目、会員より大分若め？

講師のW&N コーラーも久しぶりの初心者ではりきっていました。

講習会には4名参加で、今回は期待できそうな予感で…楽しみです。

約2時間の体験会でしたが、皆さん楽しそうに踊っていました。



第49回関東甲信越支部講習会



SD・RD 支部講習会が11月5、6日新習志野セミナーハウスで開かれます。

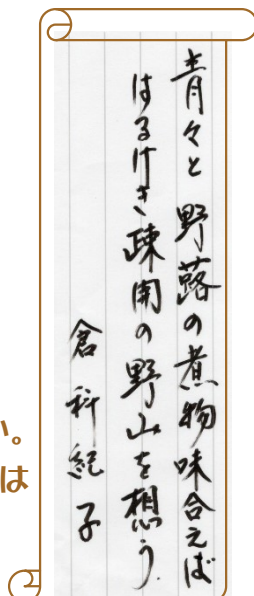
プラスコースは窪園会長が講師です。

奮ってご参加願います。

最近移籍された方々

小野博	カトレア
村田敏美	ポラリス
石橋満知子	ポラリス
野澤恵子	ワンモア
横山英子	高浜

各クラブで頑張ってください。
クローバーのパーティーには来てくださいね。



・・・新役員紹介・・・

4月10日の総会で新年度の役員が決定されました。各役員へのご協力をお願いします。

会長：窪園弘治

副会長：川崎秀夫、渡部三喜男

企画部長：渡部三喜男 副部長：高木喜一郎

指導部長：高橋英夫 副部長：池田二三男

総務部長：川崎秀夫 副部長：岡本允子

会計：入戸野靖子、中村洋子

監査：川村玲子、小川晃

日本SD協会幹事：川崎、窪園

千葉県SD連絡協議会幹事：川崎、窪園

千葉市青年協議会：坂本、入戸野（靖子）

千葉県RD連絡協議会幹事：川崎

SD協会専門委員会委員：窪園、黒崎、

入戸野（尚子）

会報担当は次のメンバーです

高木、飯塚、中村（晃弘）、西村、高原
他の方にも随時お手伝いをお願いします。



・・・編集後記・・・

会報、記念誌を作ってきたパソコンは2013年製（Win8.1）の高齢者で、時々へそを曲げて動かなくなったり、画面がグシャグシャになったりしましたが、我儘な主人に付き合ってくれまして、壊れずにがんばってきてくれました。褒めてあげたい！

50号発行でお役目御免・引退か？ 新しく元気なパソコンに交代して欲しいな！